特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 325 号] 令和 3 年 2 月 21 日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

草加市自主水防団発足へ

「草加パドラーズ」を母体とした

「草加市自主水防団」の設立について(案)

1 はじめに

草加市は関東地方利根川水系の中央部に位置し、平均海抜 3.5m、東に中川(古利根川)、中央に綾瀬川が流れる低湿地帯に 25 万人が暮らしている。私達の郷土は、明治 43 年と昭和 22 年に利根川決壊による大洪水に見舞われている。近年、各地で異常気象、線状降水帯による洪水が発生している状況を見た時、かつての経験の再来は明らかに予見できる。歴史の教訓を活かし、来るべき大洪水に備え、ここに草加市自主水防団を発足いたします。

2 目的

来るべき大洪水時に、自衛隊、消防局、行政と連携し、所有の救助艇を出艇し、人命救助、救援物資の輸送の支援活動を実施します。

3 組織

行政の要請に従い、人命救助、救援物資輸送に自主水防団を機能させます。

組織は、水防団長 1 名、副団長 3 名、総務部長 1 名 事務局長 1 名、物資運搬部長 1 名、食料補給部長 1 名、危機管理部長 1 名、情報収集部長 1 名、広報部長 1 名、救護部長 1 名、器機修理部長 1 名、団員若干名とします。さらに、団の適切な運営を図る相談役を置きます。

4 入団資格

自主水防団の目的に賛同し、入団申込書提出と年会費 10,000 円を納入した者が許可される。

5 研修・訓練

・各種の危機管理研修会、講演会に参加し、団員の資質の向上に努める。
消防局の普通救命講習会の受講を義務付ける。

・月末水曜日に、水難救助訓練を実施し、救助艇の操船技術の向上、救命浮環の投てきと引上げ技術の向上を図る。国家試験小型船舶操縦免許の取得を義務付ける。

7 水難救助訓練実施予定表

※別紙

8 その他 ・団員等の保険は加入済である。

付則 2021.2.1 から 2021.3.31 の期間は、設立準備期間とする。
2021.4.1 より総会に諮り議決された後に正式発足とする。

2021. 2. 20 現在の団員

木村、古田、中島、井坂次、矢部、松永、井坂治、荻原、林の 9 名である。

※今後、皆さんのご意見を聞き、修正を加え発足したいと考えています。よろしくお願い致します。

左記の「草加市自主水防団」設立(案)について会長を含めた本部役員から会員の皆さんに提案いたします。
3 月 31 日までに皆さんから修正案やご意見を頂戴して 4 月から設立したいと考えています。

前号でもこれまでの利根川決壊の歴史をお知らせしてきましたが、関東地方北部の山岳地帯に線状降水帯が居座り何時間も集中豪雨を受けると、利根川が溢れたり、堤防決壊と云う最悪の被害をこうむることはある程度予測できることです。この 100 年間に 2 度の利根川決壊、大洪水を経験しています。自然の猛威を甘く見ないで、日頃からの備えをしていきましょう。あくまでも、国、県、市の担当局のお手伝いと云う自主活動です。

長栄中央公園/5名 12袋回収

2月20日(土)、自主活動へ木村、古田、松永、井坂、中島の5名が参加し、長栄中央公園間5.0㎞の浮遊ゴミ回収活動で**12袋分とバイクのガソリンタンク1個、タイヤ1本の成果**でした。天気に恵まれ春のような陽気でした。行きは上げ潮に乗り、帰りは丁度潮止まりでしたので快適なゴミ拾い活動でした。また、上陸地点は、県総合治水事務所が設置してくれた簡易船着場のおかげで、とても上陸しやすかったです。木村、松永両氏はコールマン製カナディアンカヌーをシングルパドルでしっかりと漕ぎ切り、2艇を母船にしたので能率の良いゴミ拾い活動が出来ました。土手沿いを散歩する人たちが足を止めて「有難うございます」「ご苦労様です」という温かいお声をかけてくれました。上陸してジロー珈琲店で一休みしましたが、上級者ばかりとは言え往復10㎞はさすがに疲れました。

綾瀬橋に簡易船着場

足立越谷線(旧四号国道)に架かる綾瀬橋下に江戸川河川事務所中川出張所が簡易船着場を設置してくれました。今後、河川美化活動、人命救助、緊急物資輸送などに利用させていただきます。